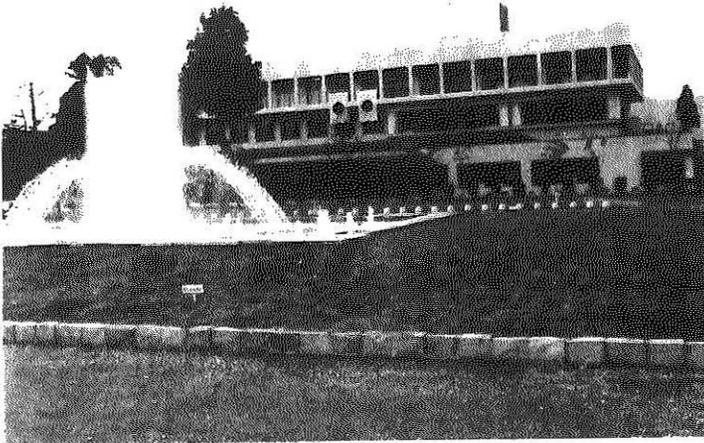


男	15,592人
女	16,434人
計	32,026人
世帯数	7,711



- ㊤ 完成した教育福祉の殿堂と大噴水
- ㊦ 開扉式でテープカットする高野市長ら
- ㊧ 落成式典で式辞を述べる高野市長

名誉市民に多田翁

待望の教育福祉会館落成

—いつ来てもええんやと—市民大喜び

三万二千市民が待ち望んでいた教育福祉会館が完成、十月三日午前九時から建設資金寄付者である多田清相互タクシー社長ら御一行を迎え開扉式が行われ、高野市長、多田社長、島田市議会議長が紅白のテープにはさみを入れ、オープンを祝いました。落成式に先立ち特別室で多田社長から贈られる育英資金二億円のうち一億円を受領。同十時からホールにおいて来賓四百三十人列席のもと落成式が行われました。席上、多田社長に勝山市名誉市民第一号の推挙状と名誉市民章を贈呈、偉大なる業績を讃えました。午後からは一般開放され、市内各種団体による各記念展や演奏会、講演会が五日まであり、多くの市民が訪れ、落成を喜ぶとともに催しを楽しみました。

この日、会館の落成を祝うかのような日本晴れ、午前八時五十分中日新聞社機「はやたか」が飛来、会館上空を旋回、加藤社長のメッセージを中央公園に投下、会館完成を祝いました。

九時少し前多田社長はじめ、同夫人同令嬢、会社役員ら御一行が到着。出迎えた老人会員や婦人会員、北部中学校生徒、一般市民、市職員ら約六百人

の歓迎の拍手のなか会館へ向かわれました。会館玄関前では高野市長ら関係者が出迎えられ、直ちに関係者列席のもと開扉式に移り、神事のあと多田社長、高野市長、島田市議会議長ら三人が紅白のテープをカット、オープンを祝い、神官を先頭に関係者一同館内を参観しました。

育英資金にと
多田社長から二億円
うち一億円を受領

多田社長ら御一行は二階特別室でしばらく休憩され、引き続き育英資金の受領式が行われました。多田社長は「次代をにやう人材を育てるために活用して

多田社長に
名誉市民の称号贈り
業績を讃える

教育福祉会館落成式は、午前十時から同館ホールで行われました。式には多田社長はじめ相

互タクシ社会関係者、中川福井県知事、県選出国會議員、別田県議會議長、隣接市町長、工事関係者、市議會議員、教育福祉関係者ら四百三十人が列席して行われ、高野市長が式辞を述べました。続いて多田社長に對し勝山市名誉市民条例に基づき、名誉市民第一号に推挙する推挙状と名誉市民章を贈り業績を讃えました。

そのあと多田社長はじめ会館の備品などを寄付された方、工事関係者に感謝状を贈りました。祝辞は多田社長、中川福井県知事、國會議員、別田県議會議長、寺島大野市長、島田市議會議長らが述べ、中日新聞社長からのメッセージも披露され式典を終りました。

多田社長は式典後「大変立派な施設になってとてもうれしい。特に前には公園、後には日本庭園があり、建物とよく調和している。教育福祉の場として市民のみならずがどんどん利用することを望みます」と話しておられました。

ほしい」と寄付の趣旨をのべられ、育英資金として二億円を寄付することを約束、うち一億円を現金で持参され、高野市長に手渡されました。一億円の包みを開き笠川収入役が一千万円の札束を十個お盆の上に積みあげ、一億円あることを確かめ、受領書が多田社長に渡しました。残り一億円は五十二年、五十三年に分け寄付されることになっています。

三日午後から一般市民に開放された会館には、そぞろく市民が訪れ、館内を見て回り、記念行事を楽しんでいました。訪れた人たちは口々に施設の豪華さに驚き、多田社長の偉大さに感激していました。

四日、五日の両日はホールでお年寄りやからだの不自由な方を招いて演奏会が開かれました。開演に先きだち高野市長は、「この建物は多田さんが建ててくださったみなさんの会館です。いつでもお気軽に来ていただきたいのですから、どんどん利用してください」とあいさつ。お年寄りらは大喜び、演奏を楽しんでいました。

また各階では落成を祝う各種文化団体の協力による各展示会が催され、訪れた市民を喜ばせました。夜は中央公園の大噴水が七色に輝き人々の目を楽しませていました。

立派な施設にびっくりに市民ら多田社長に感謝の声

娯楽室

お気軽に利用を

この程完成した教育福祉会館の娯楽室はお年寄りやからだの不自由な方のために設けられた部屋です。団体でなくても友達同士でもご利用になれます。部屋には電気あんま機、碁や将棋なども備えてあります。開碁や将棋をした方は管理事務所へ申し出てください。碁石や将棋の駒をお貸しします。また、何にもせずお友達と話をしたり、寝ころんでいても結構です。お気軽にお出かけください。お待ちしております。

9月定例会

一般会計補正予算など八議案可決

多田清氏の名譽市民推挙に同意

勝山市議会九月定例会は九月四日から十一日までの八日間開かれました。四日本会議で市長の招集のあいさつ、提案理由の説明があり、六日・七日の両日一般質問、質疑のあと各委員会付託されました。上程された議案は昭和五十一年度勝山市一般会計補正予算など八議案と昭和五十一年度勝山市水道事業会計決算の認定一件で、その中六件が各委員会で慎重に審査され、その他は委員会付託を省略十一日開かれた本会議においていずれも原案どおり可決されました。本議会で任期満了に伴う勝山市公平委員会委員に太田秀一氏(長山町二丁目)市議会推薦による勝山市農業委員会委員に堂前稔氏(鹿谷町矢戸口)乾吉一氏(北郷町西妙金島)多田井藤吉氏(郡町二丁目)山内俊成氏(野向町薬師神谷)畔川利通氏(立川町一丁目)の五人が推薦されました。また、請願陳情・成器西小学校プールの移転新設についてなど八件は採択されました。本議会で補正された一般会計予算は二億四千八百五十五万五千円追加し、三十九億八千七百二十一万五千円となりました。

一般質問

公共下水道の見直しは

松村誠一議員①人事管理において課長、係長に任用する場合試験制を採用してはどうか。出先の職員の中には本庁職員と差を感じている者もあるやに聞くが多くの市民と直接接する機会をもつことが大切である。試験制度が無理なら市政に対するレポートを提出させるという方法もある。公民館長の嘱託制という方法もあるがどのように考えるか。

松村誠一議員②先月区域を決定した。建設省に対し認可申請し来年度から着工できるように準備を進めている。

松村誠一議員③弁天グラウンドの復旧見直しと使用できる時期

松村誠一議員④公民館長は採用していない。今後よく研究検討する。出先の問題であるがご指摘のようなことがあるなら解消するよう努力しなければならぬ。公民館長の嘱託制については可能な限り導入したい。

松村誠一議員⑤公共下水道の建設見直しはどうか。

松村誠一議員⑥先月区域を決定した。建設省に対し認可申請し来年度から着工できるように準備を進めている。

松村誠一議員⑦弁天グラウンドの復旧見直しと使用できる時期

松村誠一議員⑧公民館長は採用していない。今後よく研究検討する。出先の問題であるがご指摘のようなことがあるなら解消するよう努力しなければならぬ。公民館長の嘱託制については可能な限り導入したい。

松村誠一議員⑨公共下水道の建設見直しはどうか。

松村誠一議員⑩先月区域を決定した。建設省に対し認可申請し来年度から着工できるように準備を進めている。

松村誠一議員⑪弁天グラウンドの復旧見直しと使用できる時期

松村誠一議員⑫公民館長は採用していない。今後よく研究検討する。出先の問題であるがご指摘のようなことがあるなら解消するよう努力しなければならぬ。公民館長の嘱託制については可能な限り導入したい。

松村誠一議員⑬公共下水道の建設見直しはどうか。

松村誠一議員⑭先月区域を決定した。建設省に対し認可申請し来年度から着工できるように準備を進めている。

松村誠一議員⑮弁天グラウンドの復旧見直しと使用できる時期

松村誠一議員⑯公共下水道、都市計画事業をスムーズに行うとするならばどのくらいの積立金が必要か。剰余金はいくらかしいのか。その方法はどうするか。

市長⑯財政調整の積立金額の目標はない。予算査定でムダな予算はつけない。締切った残った金の半分は財政調整積立金に前回議決されたとおり積立する。公共下水道は百五十億円必要で自己資金がなければ返上しなければならぬ。年度中に支出せざるを得ないような年度をつくりたい。調整積立金は健全財政を維持するために五億円は持つのが理想と考えている。そうでなければ真のまちづくりはできない。今の百万円は十年先の一千万円よりも価値があるという考えもあるが、市民の要望は大体かなえるようにやっていきたい。

松村誠一議員⑰追加交付された地方交付税はどのように使うのか。五十年決算でも剰余金があるが残すということも結構だが市民の要望にこたえるのが筋ではないか。建設事業、国保会計への繰り入れなど市民の福祉向上に使えるのではないかと市長⑰何もしないで金を残すのには意味がない。将来、元禄の公共下水道などに手持金がなければ事業が順調に進まない。五十二年から公共下水道事業に毎年一億円ぐらい充当しなければならぬと思う。市民からの要望に対しては大体消化してきている。修繕できるものは修繕していきたい。交付税について発表があったが十二月か三月に補正したい。入助の分も含まれていて、常二、三年先の財政を考えて運営したい。

松村誠一議員⑱交付税は前年比一四・八%伸びている。当初予算にベースアップが一切含まれていない。特別交付税については交付決定をみて措置したい。松村誠一議員⑲六・九四%のベースアップの場合、金額はどのくらいになるか。

市長⑲よく検討した結果、約三千万円ぐらい得をすることである。松村誠一議員⑳公共下水道、都市計画事業をスムーズに行うとするならばどのくらいの積立金が必要か。剰余金はいくらかしいのか。その方法はどうするか。

市長㉑財政調整の積立金額の目標はない。予算査定でムダな予算はつけない。締切った残った金の半分は財政調整積立金に前回議決されたとおり積立する。公共下水道は百五十億円必要で自己資金がなければ返上しなければならぬ。年度中に支出せざるを得ないような年度をつくりたい。調整積立金は健全財政を維持するために五億円は持つのが理想と考えている。そうでなければ真のまちづくりはできない。今の百万円は十年先の一千万円よりも価値があるという考えもあるが、市民の要望は大体かなえるようにやっていきたい。

松村誠一議員㉒追加交付された地方交付税はどのように使うのか。五十年決算でも剰余金があるが残すということも結構だが市民の要望にこたえるのが筋ではないか。建設事業、国保会計への繰り入れなど市民の福祉向上に使えるのではないかと市長㉒何もしないで金を残すのには意味がない。将来、元禄の公共下水道などに手持金がなければ事業が順調に進まない。五十二年から公共下水道事業に毎年一億円ぐらい充当しなければならぬと思う。市民からの要望に対しては大体消化してきている。修繕できるものは修繕していきたい。交付税について発表があったが十二月か三月に補正したい。入助の分も含まれていて、常二、三年先の財政を考えて運営したい。

藤田議員㉓公民館の取扱いであるが、現状では大変読みにくい。方法を考えて読みやすいようにできないか。市民会館前の掲示の目的、使用方法についてどうにかして工夫をこらしたい。また広報に掲載して見る掲示板にするよう努力する。

市長㉔市民会館の掲示は公的の広告のみ掲示している。藤田議員㉕物品購入に際して競争見積もりをとっていることでは業者が購入するにせぬか、地元業者の育成も考慮して適正な利益があるよう配慮すべきだと思いませんか。

市長㉖物品購入については慎重に行っている。地元業者優先をモットーに入札を行い安く購入するようにしているが、業者が決して損をしようとは思わない。他市から入れた方が安い場合があるので地元業者も商売人としての良心を持ってもらいたい。競争入札制度を今後取り入れていく。

藤田議員㉗予算決定と執行計画についてであるが、執行計画が効率的に執行されないか、物価高騰などによりその事業内容がマイナスになる恐れも出てくることもあり得る。予算決定されたから半年経過しているがまだ手をつけていない事業もある。どのように対処するのか。

市長㉘予算の執行は議会の了承を得たものから計画をたてて執行している。半年で全部手をつけることは困難である。十二月頃まで時間がかかっている。計画されているものは年度内に完成させる。

藤田議員㉙特に新規事業である弓道場の建設は自決がたっていない。執行計画はどうなっているのか。

市長㉚市民生活防衛対策について市はどのように対処し、町を守り、市民生活を防衛するのかが方針を問う。

打つ手が無いのが現状、地区の消防団、自治会などと意見を交換してそれぞれの地域での防災対策をたてる必要があると考える。地震対策を研究したい。

大平議員㉛市街地にはかなり狭い道路があり、火災の場合消防車が通行できない地域がある。どのように対処していくのか。

消防署長㉜指摘のとおりで消防総合訓練においてもこのことをふまえて演習計画をたて実施している。大型車は無理だが、著のジブ型やポンプ積載車なら可能なので防ぎよについてさらに研究を重ね大事に至らないよう努力する。

建設課長㉝一部の道路改修を地元住民に協力要請したが成功しなかった。

大平議員㉞生活保護世帯の国鉄通勤定期乗車券の特別割引制度があるが本市ではどのように指導しているか。

市長㉟弱者援護は大切なことで常に職員に法規の勉強をし精通するようにしている。

福祉事務所長㊱特別割引制度は昭和四十三年につくられ、厚生省から通達があった。勝山市では一人も利用者がいない。該当者があれば指導したい。

いる。福祉事務所長④ボランティア活動は無報酬で行うもので民間グループによるものである。社会福祉協議会が担当、中心になつて「市民の福祉を考える集い」などを開いて活躍している。

大平議員⑤聞くところによると来月上旬、小さな親切運動推進福井県民のつどい。が勝山市で開催され、茅誠司先生がお見えになるそうだが、それまでどの程度推進できるか。社会教育課長⑥来月上旬の大会は社会教育課が主管となる。準備は今から進め、意義あるものにした。

郊外環状道路の計画を急げ

横山議員①低成長経済から脱皮し市民生活安定のため自立財政をめざさなければならぬが市は産業育成をどう考え工業都市か、観光か、また第一次産業都市か、いずれに進むのか。

市長①低成長時代になり国民は生活設計に不安を持ちながらも耐えている社会情勢である。本市の方針は第一に第一次産業次に工業、次に観光という考えである。観光都市としての資源は多いが、これを生かすには巨額の資金がいる。従って森林、水田等を中心とし、遊休労働力を工業に振り向けるようにしたい。また、どちらに力を入れたいくか決めていないが、いま述べたような考えで市の安定をはかりたい。

横山議員②バス路線の赤字負担の現状と五十一年における負担額はどうか。今後の対策はどのようにするのか。

市長②バス会社は営利企業である以上赤字は覚悟しなければならぬ。五十一年度の一部負担はもと企業努力せよと条件を付けて要望額の10%しか出し

ていない。九月からワンマンバスに切り替えたようだが五十一年度も相当の要求があると思う皆さんと相談しながら研究していきたい。

横山議員③郊外の環状道路を計画して早く実現するよう努力する意思はあるか。矢戸口から遅羽へぬける路線、細野口から北野津又——新道を回る環状線などが考えられる。早急に計画をたてる考えはないか。

市長③郊外の環状線については市民の交通の確保と赤字バスの解消にも役立つと思う。連絡道路、環状線の実現を期すよう本格的に計画していきたい。

建設課長③市合併時の計画であつたが実施が困難ということ。現在国道一本、県道十三本あり更に幹線市道があるので大体的には果してはいると思ふ。環状線道路については農道を結んでいけば可能だと考える。

横山議員④小松—勝山線の進行状況はどうなっているか。

市長④小松—勝山線については毎年建設省へ期成同盟会が陳情している。福井と石川の県境のトンネル(八百五十)をま

ず第一にやってみようといつてゐる。逐次改良するよう努力している。現在毎年一億近い金を投入している。

建設課長④小松—勝山線の福井県側延長は一万六千六百六十。五十一年度末の改良状況は二千六百五十四(率二五%)舗装現況は五千六百五十六(率五三・三%)となつてゐる。五十一年度の改良二千三百三十。舗装五百二十となつてゐる。今年度中に再調査し路線決定を行う予定。五十一年度についても五十一年度の実績に応じてやるよう陳情している。

横山議員⑤土地改良後の市道幅入についてどのように考えているか。

建設課長⑤事業の目的から性格が異なる改良後直ちに幅入することはできないので、本換地終了後に考えていきたい。

横山議員⑥原山観光開発の現況と見通しについて問う。

市長⑥原山開発についてはフジ工業と絶えず連絡をとり督促しており放置しているわけではない。スキー場にしてはと進言し、設計したようだ。時期が時期だけにあまり無理はいえないのではないかと思ふ。経済界の情勢を見極めて話し合つてい

く。

横山議員⑦中学校の統合による記念行事に対し、助成する意思はあるか。

教育課長⑦記念行事に対する助成を行う考えはない。学校、父兄がやられることには感謝する現時点では助成しない。将来については答えられない。記念行事となれば小・中十三校あり統合記念行事となれば三校のみである。このことは考える余地がある。

予防接種の改正について



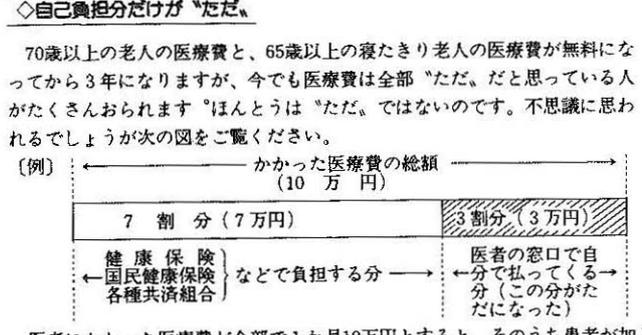
〔改正された注射名〕

注 射 名	内 容
種 痘 (うへぼうそう)	1 期 生後36か月~72か月 (ただし当分実施しない)
	2 期 小学校入学児童 } 廃 止
	3 期 6 年 生 }
百 日 咳 ジフテリア	1 期 生後3か月~48か月 (集団接種24か月以上)
	2 期 1期のあと12~18ヶ月
ジフテリア	3 期 小学入学児童(廃止)
	4 期 6年生(3期として実施)
急性灰白髄炎(生ポリオワクチン)	生後3か月~48か月に2回
麻 疹 (はしか)	1歳以上 1回のみ
風 疹 (ふうしん)	中学女子
日 本 脳 炎	3歳~15歳
インフルエンザ	3歳~15歳の保育所幼稚園児、小中学生

伝染病の発生や流行を防ぐため、新たに予防接種が増えたり予防接種による事故を防ぐためにいろいろな内容が改正されました。安心して注射を受けるために次のことに注意ください。

- 予防接種を受ける時の注意**
- 通知書や問診票の注意事項をよく読む
 - 通知書や問診票の内容がごまかなく、保護者は正確に責任をもつて記入しなければならぬ
 - 予防接種の際の健康状態を問診票の内容がごまかなく、保護者は正確に責任をもつて記入しなければならぬ
 - 予防接種には、効果のある薬、年齢に合ったものがあります。健康状態のよいときに早く受けましょう。
- 問診票は**
- 注射の適否をきめる大切な手帳です。記入してない場合や忘れてきた場合は注射は受けられません。
 - 幼児の注射には、その子の健康状態を常によくわかつている人が連れてくること。
 - 異常があつた場合は、高熱や嘔吐、けいれん等の異常が発生した場合は、すぐ医師の診察を受け、市役所保健衛生課へ連絡すること。
- つきせいは**
- 保護者が前日に正確に責任をもって記入し、印鑑を押す

お年寄りの医療費は「ただ」ではない



医師にかかった医療費が全部で1か月10万円とすると、そのうち患者が加入しているそれぞれの保険で7割分に当たる7万円を負担し、残り3割分3万円を患者が窓口で支払います。「ただになったのはこの3万円(斜線の部分)だけなのです。

◇加入している保険の保険料(料)は負担しなければならない

お年寄りの方でもいずれかの健康保険には、必ず加入し、保険料(料)を負担しないと自己負担分の3割分が「ただ」にはならないのです。このことが正しく理解されていないため、お年寄りは医療費が「ただ」だから保険料は納めなくてもいいと感違いをされるのです。

◇ムダづかいをすれば保険料があがる

高齢になれば、いろいろな病気が出るのは自然のことで、若い人より医療費が多くなるのは当然だともいえますが、そういつて簡単にかたづけられないほど老人の医療費が多くなってきています。勝山市の場合、老人以外の医療費の1人当たり額が54,700円に対し、老人の1人当たり額は193,000円と約4倍になっています。医療費がかさめば国からの補助も増えますが、補助以外の部分も増えることになり当然保険料をあげなければまかなえなくなります。高くついた医療費のツケは結局自分にまわってくることになるわけです。

窓口で払うお金が「ただ」なので、全部国がもつてくれるように思いますが、ムダな医療費を使うと保険料のアップとなって、自分自身にかえてくることを理解してください。

◇家庭医をもとう

医者からの医療費の請求書を調べてみると、1か月に1人の患者が同じ病気で5軒もの医者を転々としているような例がたくさんあります。ふだんから家庭医をもって家族の健康のことはなんでも相談できるようにしておくことが大切です。

そして「この医者、と信じたら、転々とせずマジメに診療を受けることです。ハシゴ診療は医療費のムダ使いになるばかりでなく、いろんな薬がかさなって治療のさまざまなことになります。また、何軒もの医者からもらった薬は飲まれずに結局捨てられてしまうことが多く、これ以上のムダ使いはありません。

◇国では老人医療の有料化を検討中

老人医療費が普通の人の医療費の4倍という現状と、これからまだまだ増えていく傾向にあることを憂慮して、国では老人の医療費のムダ使いを少しでも減らそうと無料から、少しは負担していただくことを検討しています。せっかく自己負担分が「ただ」だったものが一部負担しなければならなくなったら大変です。どうか、ムダな医療費は使わないよう1人1人が心掛けるようお願いします。





式辞

勝山市長
高野春三

秋冷の佳き日、ここに多田相互タクシ社長ならびに福井県知事殿、国会議員各位をはじめ来賓多数のご臨席をいただき、勝山市教育福祉会館落成式典をかかも盛大に挙行できまことは勝山全市民の大きな喜びであり、また私の最も光栄に存するところであります、ますます深く感謝申し上げます。

ここに改めて申し上げるまでもなく経済優先の社会から人間尊重の社会への転換が求められております。私たちに与えられた最大の課題は教育の振興と福祉の充実であろうと存じます。即ち、豊かな人間性を形成する生涯教育の場として、また、福祉事業を積極的に推進する拠点としての教育福祉会館の建設は勝山市民各層すべてが熱望するところであり、私の公約の第一でもありまして市長就任以来これが早期実現に日夜心を傾けて参つたのであります。しかしながら、当時本市は財政の再建途上で市民の願望を満たすには程遠い状態であり、巨額の建設資金の調達に苦慮いたしておりました。

折りしも機を得まして大阪市に在住される本市出身の多田清翁にご相談申し上げましたところ、社業創立四十五周年と翁の古希を記念して教育福祉会館の建設資金全額を寄付して下さることにになりました。私はもとより、全市民がこの偉大なご芳志にただただ恐れ入り、翁の父祖の地に対する愛郷心と教育福祉へ寄せられる深いご理解ご熱意に市民一同この上ない感激にむせんだのであります。

以後、市議会のご決議を経て会館の建設位置を由緒深い旧成器西小学校跡地に定め、翁のご意向に添うべく、他の類似施設も参考にいたしまして教育福祉関係者と密接な連携を保ちながら勝山市に最もふさわしい施設にする計画を練り上げたのであります。

この計画をもとに株式会社共栄建築設計事務所にて設計監理を委託、建築工事は真柄建設株式会社と株式会社山本組の共同施工、電気設備工事は北陸電気工事株式会社とそれぞれ請負契約を成し、昨年九月十五日敬老の日をばくして建設に着手いたしました次第であります。

着工以来一年余、施工者の卓越した技術と誠意、設計監理者の適切な指導監督により工事は順調に進み、更に設備品の調達においても各位からの格別のご協力を得まして、ここにめでたく竣工いたしましたことは、私にとりまして感慨無量であり、万感胸に迫る思いであります。

この建物は勝山市街の中枢に位置し市庁舎、市民会館に隣接して、加越国境大日山を遠く背景に、新設の中央公園の景観と見事に調和いたし、近代的機能的な設備を誇る会館の偉容を仰ぎ見る時、これを利用されるお年寄りをはじめ、からだのご不自由な方、婦人青少年の皆さま、市民各位の喜びは如何ばかりか測り知れないものがあります。

ここに多田社長のご厚情に對しまして市民と共に心から厚くお礼申し上げます。次第であります。なお、会館の備品調達に際しまして各位からお寄せいただいたご芳志に對しまして改めて厚くお礼申し上げます。

さて、私は先刻本館特別室におきまして、多田社長から本館落成を記念し育英資金として二億円の寄付申し出を受け、本日一億円を受領しましたことをご報告申し上げます。最も最大の謝意を表したいと存じます。

「寄付の趣旨によりますれば、この目まぐるしく変容発展する現代社会にあって、次代の日本をになう青少年の教育は、真に緊急を要する課題で修学困難な青少年のための育英資金として活用されたい」とのことでありまして、私はまことに時宜を得たご心情と推察いたし、この上なく感謝感激にいたっているところであります。

私は直ちに市議会の協賛を経ましてこの資金を基金に全国でも類を見ない特徴ある育英制度を創設し将来にわたる、翁のご厚志に報いたい所存であります。

こうした翁の本市に寄せられたご厚意の数々は周知のことであり、また、各方面へのご寄付も数知れず、紺綬褒章、同師版を下賜されること二十数回にわたられ、利益の社会還元を信条とされる翁のご功績は各界各層に及んでおられるのであります。

私共は偉大な翁の業績に對し、勝山市名譽市民条例に基づき名譽市民に推挙することを市議会の賛同を得て、本日、この席において名譽市民の推挙状と名譽市民章をお贈りして翁のご功績を讃え、ここに深く感謝の誠を捧げる次第であります。

私は、本日の感激と歓喜を胸にいよいよ決意を新たに、教育福祉の増進に最大の努力を傾注することをお誓いし、もって各位のご厚志におこたえする覚悟であります。多田社長はじめ関係各位、市民の皆さまにおかれましては、この上とも本市発展のため、旧に倍するご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますが、式辞といたします。

昭和五十一年十月三日

祝辞

相互タクシ株式会社
社長 多田 清

本日は私にとって懐かしい郷里におきまして、勝山市政始まって以来の盛大な同市教育福祉会館の輝かしい落成式が挙行されるに当りまして、その栄ある式典に私を始め家族及び相互タクシ株式会社の役員まで多数にわたり、ご丁寧なお招きをいただき大変ありがたうございました。厚くお礼を申し上げます。その上、この式典に際しまして私より祝辞を申し上げます。ご指名を頂戴いたしましたことは、無上の光栄と存するところでございます。

なおまた先刻は、私如き者に対しまして勝山市の名譽市民として栄ある称号を賜りましたことは、私の長い生涯におきまして、これに過ぎる喜びと感激はございません。

幾代かの永きにわたり郷土勝山の地下に永眠しております私の父母祖先の霊を慰めるに、これより大きな孝行の道はないのでございまして、ただ今、祝辞を申し上げます。冒頭に当りまして郷土勝山市の全市民の皆さん方に対し心より厚く御礼を申し上げます。次第でございます。

願ひを込めて、私は代々に亘り勝山市の新保に住みまして父多田三右衛門の二男二女の末子に生まれましたが、明治四十一年幼少三歳の頃に酒造業を営んでおりました家運が傾きましたため、父母兄弟らは泣いて父祖の地を去り大阪に移りました。以来貧苦ながらも父母の愛情に育てられまして元氣な青年期を迎えました。

昭和二年広島電信第二連隊を満期除隊いたしましたから現在の相互タクシの前身会社に入社しましたが、昭和

六年のパニックに遇いこの会社が倒産しましたので、私は従業員代表として経営一切を引受けて、この倒産会社を再建いたしました。

次いで昭和十三年に京都相互タクシを創業し、更に昭和三十年に神戸相互タクシを創業いたしました。このほか大阪に二、三のタクシ会社を創業いたしました。現在では約二千台のタクシを経営しておりますが、戦争中にはタクシに配給されるガソリンが全部配給中止となり、全国のタクシの火は消えましたが、相互タクシは独り木炭で動くタクシを研究発明して、戦中戦後大いに木炭タクシを走らせましたので、時の政府や国民から賞賛を受けたことがございます。

また私は、木炭タクシに使う膨大な量の木炭を京都や大阪の奥の山々で、六年間も炭焼きをいたしましたので、たくさん山々の山々は皆すっきりハゲ山になりました。この時、村の古老に教えられ以来三十数年、右のハゲ山全部に杉松を植林いたしました。その後植林に興味を感じこれを続けております。

このため、植林数約五百五十万本、材積百万石、戦後我が国で一番多くの植林をいたしました。これが相互林業株式会社になった理由でございます。

戦争終戦の直後に木炭タクシで得た資金を電力・ガス等資源開発産業に對し、株式投資をいたしました結果、今では相互タクシは全国九電力の大株主となっております。

相互タクシがこのように発展して来ました時、昭和四十八年のある日、

私は本日ここにおられます高野勝山市長の単独訪問を受けました。始めのお話は会館の件で一億程郷里に頼むといわれましたが、その後再三再四の訪問で市長さんの熱心な説得を受けまして、ついに、昭和四十九年三月十五日、北陸電力社債三億五千万円を勝山市役所に持参いたしました。喜んで高野勝山市長にお渡しいたしました。

その後、この資金が勝山市長始め役所の皆さん方の大変なる工夫とご努力によりまして、斯くも立派な姿で勝山市教育福祉会館が落成したことは、大変な驚きと心よりの敬意を感じるものでございます。

あれやこれやと郷土のことを考えるうちに農村経済の貧しきが故に進学の力ありながら進学し得ない多くの青少年諸君に對し、育英資金を贈り、事業は人なりという大鉄則のもとに郷土の発展もまた人なりと堅く信じておりますので、次の世代による郷土勝山の繁栄を心より祈念いたしまして、はなはだ不躰でございますが、ここに育英資金二億円のご寄付を思い立ちまして、本日そのうち一億円を持参いたしました。次いで残り一億五千万円を五千万円を、同五十二年秋に五千万円をお贈りしたいと存じております。

それでは最後に一言申し上げます。これは、この金の性質でございますが、もとより私ら始め会社の者が長年に亘り粒々辛苦汗と油の働きて造った真の浄財でございます。まして、青少年諸君にこの意義が伝えられれば望外の喜びとするところでございます。

終りに望みまして高いところからはなはだ失礼でございますが、郷土勝山の全市民の皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。私の祝辞を終らせていただきます。

昭和五十一年十月三日

昭和五十一年十月三日

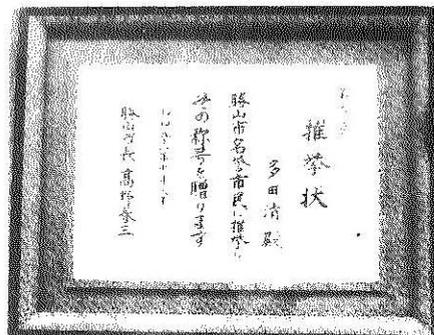
昭和五十一年十月三日

教育福祉社会館落成スナップ写真

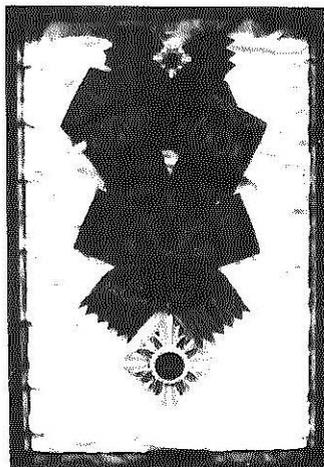
▶名譽市民章を胸にさげられた多田社長ご夫妻との記念写真（左から高野市長、多田社長、夫人、島田市議会議長）



▲関係者の前で多田社長から贈られた育英資金1億円の現金を確かめる笠川収入役



上は名譽市民推挙状
右は名譽市民章



▲祝宴で飲談される多田社長、中川知事、別田議長、高野市長



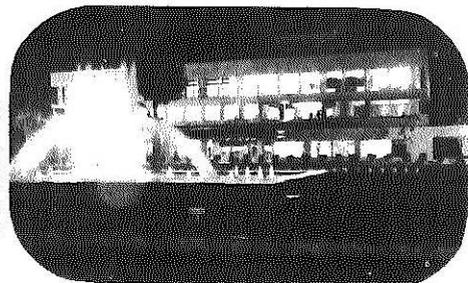
▲多田社長の祝辞を読む市民



▲お年寄りらを喜ばせハッスルする
演芸団員



▲勝山の歴史と文化展をご覧になる多田社長夫妻



▶見事な会館の夜景



▶手拍子を打ちながら演芸を楽しむお年寄りたち



▶記念展を見る市民

まだまだ若いぞ
お年寄り
スポーツを
たのしむ

たのしむ

雨で日延べになった勝山市老人スポーツ大会は、からりと晴れ上った十月十九日長山公園グラウンドで市内各地区十二チーム二千人が参加、風船割競争など十一種目に熱戦を繰り広げ、村岡チームが初優勝を飾りました。この日を待ちこがれていた市内のお年寄りらは、朝早くから会場の長山公園へ集まり、開会式には二千人が参加、それぞれ会旗を先頭に入場しました。この大会は市高齢者連合会の最も大きな行事で、参加者が一番楽しみにしている大会です。競技は十二チーム参加とあって一種目を十二回も繰り返えず無つり競争から始まり、風船割、男女一組となってポールを竹の棒にはさんで走るリレー、顔一面真白にしてアメを探すアメ探し競争、自動車の古タイヤをころがしながらリレーするタイヤころがしリレーではタイヤが応援席へ飛びこんだりするなど珍プレーが続出、競技する人も応援する人も笑いのなかで秋の一日を楽しみました。

また、会場での共同募金にも多くのお年寄りたちが協力していました。参加した人たちは、「気はせくし、足はもつれるし思うようには走れなんだ。ふだんから鍛えておかんとあけへんのう。でもとっても楽しかった」と話していました。成績は次のとおりです。

- 優勝 村岡 四十二点
- 次勝 野向 二十九点
- 三位 平泉寺 二十八点
- 〃 鹿谷 二十八点

総選挙を前に

こわいのは「誰でもいい」という心

明るい選挙ポスター入賞者決まる

こわいのは総選挙の年です。そして公職選挙法が改正されてから初めての選挙でもあります。衆議院の総選挙は解散が任期満了によるものによって行われる選挙で、私たちが国政に参加する重要な選挙なのです。

ここ最近に見られる政局の混乱、数年来続いている政治不信に對して有権者である私たちが答を出さなければならぬのです。私たちは戦後三十年間に衆議院の総選挙を十二回と回を重ねて来ました。そしてそれらの選挙の積み重ねの結果が今日私たちの目の前に繰り広げられています。政治の姿なのです。

私たちは有権者一人ひとりが、私たちが生活を守る政治をつくり出すことにつながるのです。選挙は身近な選挙ほど関心が高

事務所の位置が 変わりました

教育福祉会館の完成により一部事務所の位置が変わりましたのでお知らせします。

- 福祉事務所と社会福祉協議会は教育福祉会館一階へ
- 勝山公民館は教育福祉会館二階へ
- 水道課は市役所一階、福祉事務所とへ
- 教育委員会事務局(教育長室) 庶務課、学校教育課、社会教育課、体育課、体協事務局 文協事務局)は市民会館二階

労働金庫でも 水道料が納められます

勝山水道事業の収納取扱金融機関の指定についてお知らせします。現在市内の各銀行および越前信用金庫で水道使用料を納めることができますが、新たに次の金庫も十月二十五日から勝山水道事業の収納取扱金融

最低賃金が 改正される

十一月七日から、福井県内のすべての事業場およびすべての労働者を適用対象とする福井県最低賃金が改正されることになりました。

十一月七日からは県内で労働者を雇用するときは、一日二千五百円(一時間二百五十七円)以上の賃金を支払わなければなりません。

なお、この金額のなかには、精進労働手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外割増賃金等は含まれません。また、この最低賃金より高い産業別最低賃金の適用を受けている労働者には、高い方の最低賃金が適用されます。もし、最低賃金以下の賃金を支払いますと処罰される場合があります。詳しいことは最寄りの労働基準監督署が労働基準局賃金課へお尋ねください。

国民年金制度が改正された

ことし国民年金法が改正され、拠出年金、福祉年金とともに、老齢年金をはじめとする各種年金が次のように引き上げられます。

改正された拠出年金の額 (9月分から)

年金種別	年金額	月額	
老齢年金	特例 (10年納付)	246,000円	20,500円
	一般 (5年納付)	180,000	15,000
		390,000	32,500
	一般と付加年金 (25年納付)	624,000	52,000
		450,000	37,500
720,000	60,000		
障害年金	1	495,000	41,250
	2	396,000	33,000
母子年金	子1人のとき	396,000	33,000
準母子年金	弟・妹・孫など1人のとき	396,000	33,000
遺児年金	遺児1人のとき	396,000	33,000
寡婦年金	夫が25年納納し死んだとき	夫の受ける老齢年金の半額	

○母子、準母子、遺児各年金の子等の加算額は、第2子のみ月2,000円、第3子以降は400円。

改正された福祉年金の額 (10月分から)

年金種別	年金額	月額	
老齢福祉年金	明治44年4月1日までの出生者で70才以上	162,000円	13,500円
障害福祉年金	1	243,600	20,300
	2	162,000	13,500
母子福祉年金	子1人のとき	211,200	17,600
準母子福祉年金	弟・妹・孫など1人のとき	211,200	17,600

注意

中央公園に ぐず電贈る

勝山ライオンズクラブ
教育福祉会館(元町一丁目) 前の中央公園は第二次造園工事が進められ、十一月完成します。この程勝山ライオンズクラブ(白木哲三会長、三十八人)は同公園の美化をはかるため、くす電(直径五十センチ、高さ六十六センチ)六個を寄贈しました。

環境美化運動を進めている同クラブは、市民の憩いの場となる中央公園がいつも美しく気持ちのいい公園であってほしいとくす電の設置を思いついたもので、贈呈式は同公園大噴水前で行

われ、市からは高野市長、野辺都市計画課長ら関係者、ライオンズクラブから白木会長、会員十数人が列席、白木会長が「いつも美しい公園であるようくす電を贈ります」とあいさつ、高野市長に目録を手渡しました。市長は、「クラブの皆さんの美化運動の熱意に感謝します」とお礼を述べ、感謝状を贈りました。同クラブはこれまでも交通公園につづきを植えたり、市民に緑をと苗木などを贈っています。

藤木さんら 趣味の作品を寄贈
町のお年寄りが日頃の趣味を生かし、教育福祉会館落成記念行事の作品展に出展した作品を同会館に寄贈、関係者や訪れた人々を喜ばせています。



作品を寄贈した人は、猪野口の藤木長兵衛さん(左)けやきの川流木の置物と飾台、本町二丁目の松村賢さん(右)は、けやきの飾台。栄町一丁目の和田みよこさん(左)は、和紙絵の額。いずれも力作で見事な作品です。これらの作品は同会館を訪れる人たちの目を惹きつけることでしょう。ありがとうございます。

農協から カープミラー13基 早速危険箇所へ設置
勝山市農業協同組合(笠羽清

右衛門組合長)はこの程、市へカープミラー十三基を寄贈しました。これは市農協で取り扱った自動車損害賠償責任共済保険の剰余金を充て、市内の事故発生危険箇所へこれを設置して交通安全事故防止をはかるというわけで贈られたものです。ミラーの大きさは直径八十五センチ、柱の高さは二・五メートル、設置費を含めて約六十万円です。市では市内各町の危険箇所を設置工事を進めています。

藤木さんら 趣味の作品を寄贈
町のお年寄りが日頃の趣味を生かし、教育福祉会館落成記念行事の作品展に出展した作品を同会館に寄贈、関係者や訪れた人々を喜ばせています。

藤木さんら 趣味の作品を寄贈
町のお年寄りが日頃の趣味を生かし、教育福祉会館落成記念行事の作品展に出展した作品を同会館に寄贈、関係者や訪れた人々を喜ばせています。

税を知る週間 11/11~11/17

市民会館で臨時税務相談室開設

税金は、国が幅広い活動を行う大切な財源となっており、私たちが日常の生活においていろいろな面でかかわっています。このように国民生活に携わっている税金について、その仕組みや使いみちなどを国民の皆さんに正しく理解してもらう必要があります。

- そのために国税庁では、十一月十一日(木)から十七日(水)まで「税を知る週間」として、税務行政の現状のお知らせ、納税者に有利な税知識の普及、税務相談体制のPRなどに重点をおき、全国的に幅広い行事を行います。この週中大野税務署ではいろいろな行事が行われます。勝山市では次の行事が行われます。
- 1 上後土地地区画整理事業地区内一街区三番の二 保留地
 - 2 内二九・九四平方は七筆一八〇七・九三平方は入札の日時
- 昭和五十一年十一月十七日午前九時から

心配ごと相談

第一 第三水曜日 10-15
第二 第四水曜日 10-12
福祉会館

交通事故のご相談はご遠慮なくどうぞ
平日は午前九時半から午後四時半まで
(土曜日は正午まで)

専門の相談員が親身になってご相談に応じます
電話でも相談に応じます

社団法人 日本損害保険協会
自動車保険請求相談センター

相談無料
福井市大手三二七-1 織協ビル五階
自動車保険料率算定会福井調査事務所内
〇七七六-二二二四六六
直通〇七七六-二二二三八二